

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。

今月分の請求書を送付いたしますので、ご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつもお世話になりありがとうございます。

あっという間に 2020 年も残りわずかとなってまいりました。

皆さまはいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

まだわずかに紅葉の残る初冬の嵐山へ行ってまいりました。

早朝の嵐山はとても静かでしたが、お昼頃には大勢の観光客の方がいらっやっていました。小さな宿泊施設やお店などは、休業しているところも多くあり、コロナ前と比べれば随分少ないのではないかと思います。

毎年恒例の「年賀状のネタ作り」を終え、天龍寺へ向かいました。(年賀状のネタについては、また来月に書こうと思います。)

室町時代、足利尊氏が後醍醐天皇の菩提を弔うために創建された天龍寺は、もとは渡月橋なども境内地であったそうです。いまでもとても広い敷地なのですが、かつての 10 分の 1 程になっているそうで、当時の繁栄がしのばれます。

後醍醐天皇とは敵対関係にあった足利尊氏に、寺院の建立をすすめたのは、禅僧・夢窓疎石でした。

臨済宗の禅僧であり、作庭家であり、漢詩人であり、歌人でもあった夢窓疎石。時の権力者から崇敬されていただけでなく、才能とセンスの塊のような人だったようです。

その夢窓疎石が作った天龍寺の庭園は、「古都京都の文化財」として世界遺産に登録されています。

天龍寺の建築物のほとんどは度重なる火災で焼失し、どの建物も明治以降の建築ですが、庭園は当時の姿のままで残っています。嵐山の自然を借景に、起伏のある庭に小川が流れ、大きな池を配した素晴らしいお庭でした。きっとコロナ前であれば、この場所も多くの人でにぎわっていたのですが、秋の名残の素晴らしい青空のもと、ゆったりと拝見することが出来ました。

法堂では天井の「雲龍図」を公開していました。

平成 9 年に加山又造画伯によって描かれた八方にらみの龍は、どの角度からみても、顔がこちらを向いて、睨みつけられているように見えます。パンフレットの画像では、そのようには見えないので不思議です。すごい迫力でした！！

2020 年は激動の一年でした。大変お世話になりありがとうございました。おかげさまで今年もたくさんのお仕事をさせていただきました。来年以降がどのようになってゆくのか、想像もつかないような状況ではありますが、「結果的に、より善くなった！」と言えるようになりますように。2021 年、みなさまの繁栄とご健康とご多幸をお祈り申し上げます。年末年始、お忙しいかと存じますが、どうぞご自愛くださいませ。



今月も最後まで読んで頂きまして、
ありがとうございました。
来月もよろしく願っています。